

Sustainable Report No.066

# 木を身近に感じて 森林循環を推進



サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。  
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

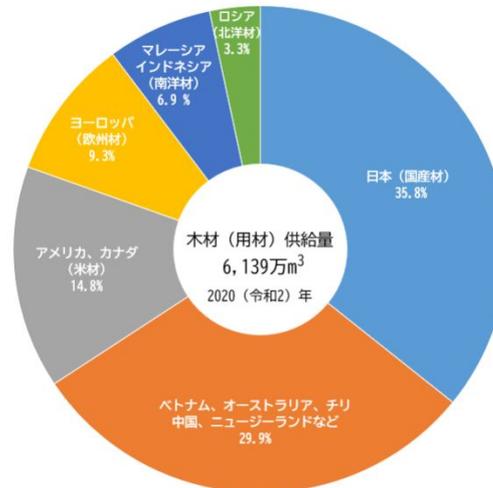
## ■ 課題の現状／経緯／影響

- 日本では昭和55年をピークに**木材価格が長期的に低下**し、林業が衰退。従事者は35年で7割減少した。
- その一因である**木材の輸入緩和**は、安価な外国産木材を流通させ、国内産木材のシェアを低下させた。
- 管理が不足する森林の質は低下し、台風被害や大雨による**土砂災害が起こりやすい**状態になっている。

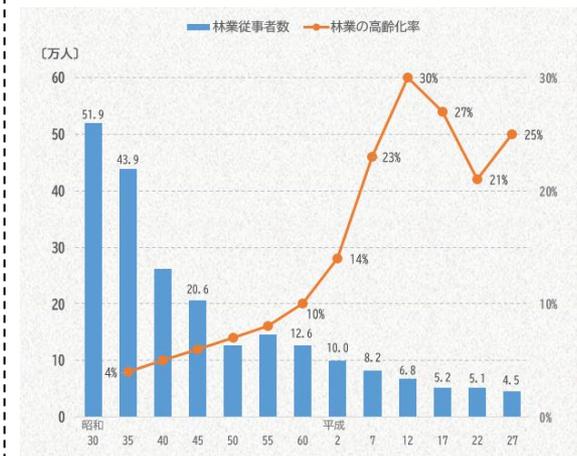
## ■ 木材価格の推移（製材用中丸太）



## ■ 我が国の木材需給状況



## ■ 林業従事者数と高齢者比率の推移



出典：林野庁「林業白書」をもとに森林・林業学習館が作成

▶NEXT: 高知県では木材を活用した活動をWEB発信

### ■ 実行者／解決方法／残る課題

- 森林率日本一の高知県は**県土の84%を森林**が占め、木材の流通・販売体制の強化や次世代の育成に取り組む。
- 平地が少なく経済活動に不向きといわれた地域の弱点を魅力に変えるため、人と森とのつなぐコミュニケーションを深める活動**「84(はちよん)プロジェクト」**をデザイナー梅原真氏が2009年に発足、NPO化。
- 地元企業とコラボレーションして商品開発事業を行うほか、**著作権フリーの「84ロゴ」**を配布。森や木材のブランド力を高める活動をWEB発信し、林業のイメージ改善を図る。
- このような長きに渡り継続する活動に向けられる関心を絶やさないためには、発信方法の進化が問われる。

### ■ 都道府県別 森有率ランキング TOP5

順位	都道府県	森林面積 (ha)	森林率
1位	高知県	595,032	83.8%
2位	岐阜県	861,978	81.2%
3位	長野県	1,068,636	78.8%
4位	島根県	524,495	78.2%
5位	山梨県	347,781	77.9%

出典：[林野庁：統計情報](#)をもとに筆者作成

### ■ 84ギフトボックス

馬路村農協組合さんのプロジェクト

**84** ギフトボックス  
はちよん

馬路村の森林率は96%！まさに森林から生み出された馬路村の商品たちが、馬路村の杉でつくられた木箱にいっぱい詰まった84ギフトボックス。馬路村は長く続く森をつくるために、ゆず農業と兼業ができる小さな林業（自伐型林業）を始めようとしています。



出典：[84PROJECT](#)

▶NEXT:木材の魅力を向上させ、森の守り人という誇りを持つ

## ■ 弊害の原因／理想／企業施策

- WEBサイトに用いられる**機能や構成のスタンダードには変化がある**ため、何年もデザインをリニューアルせずに訪問者の回遊ニーズに応えつづけることは難しい。
- 訪問者が知りたい情報への導線配置のためには、**感覚にはたらきかける表現**が有効ではないか。
- 木材であれば、その**香りや温もりなどを伝える**ことで、本能的に「森の守り人」のような誇り高い感覚を持たせることが理想である。
- 形を変えながら消費者と従業員に木材を使用する目的(意義)を啓蒙し、**間接的な森林管理の意識**が高まれば、魅力を活かした木製品の開発、ひいては木材の価値向上で林業の発展につながるだろう。

## ■ 木づかい運動ロゴマーク



## ■ エコマテリアルロッカー



## ■ ジョッキ枡

出典:[木づかい.com](http://木づかい.com)

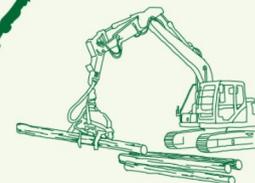
本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

こうちフォレストスクール

オンライン講座 高知会場 東京会場 大阪会場 参加者の声 開催報告 お問い合わせ

**受講料無料**

会場までの交通費は自己負担となります



林業を学び、身近に感じる時間。林業の未来の担い手を募集します。



## こうちフォレストスクールの特徴



林業の基礎知識や高知県林業の特徴を学ぶ



林業就業に向けた支援内容や高知県立林業大学校を知る



林業の現場で働く先輩と交流する



高知県の移住支援制度を知る



個別相談の時間がある  
(希望者のみ)



受講後も林業就業に向けた手厚いサポートが受けられる



高知県内の林業体験等への交通費の一部が支給される

## ■ 参照・引用資料

- 林野庁,「森林・林業白書」, 2023年6月16日参照 (<https://www.rinva.maff.go.jp/j/kikaku/hakusvo/>)
- 森林・林業学習館,「森林・林業関連データ | 資料室」, 2023年6月16日参照 (<https://www.shinrin-ringyou.com/data/entrance.php>)
- 林野庁,「都道府県別森林率・人工林率」, 平成29年3月31日 (<https://www.rinva.maff.go.jp/j/keikaku/genkyou/h29/1.html>)
- NPO法人84プロジェクト,「84プロジェクト」ホームページ, 2023年6月16日参照 (<https://www.kochi-84project.jp/>)
- 特定非営利活動法人 活木活木(いきいき)森ネットワーク,「木づかい.com」ホームページ, 2023年6月16日参照 (<http://www.kidukai.com/>)
- 公益財団法人 高知県山村林業振興基金 高知県林業労働力確保支援センター,「こうちフォレストスクール」ホームページ, 2023年6月16日参照 (<https://www.kochi-forest.com/>)

## ■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



### 小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。